

デーリー東北

2021年(令和3年)12月18日(土曜日) (16)

八工大IH部 インカレ出場 活躍を誓う

八戸市長に抱負

今月25〜29日に北海道帯広市で開かれる日本水泳競技選手権(インカレ)アイスホッケー競技に出場する八工大の関係者が17日、八戸市庁に熊谷雄一市長を訪ね、全国大会での活躍を誓った。

八工大は11月に宮城県大和町で開かれた東北地区学生選手権で、東北大や東北学院大を下して決勝に進出。決勝では八工大との同

地区対決を制し、7年ぶりの優勝を飾るとともにインカレ出場を決めた。

市庁を訪れたのは、本間貴士監督、大坊和希主将(八戸市出身、工大一高出)、本堂将汰副主将(二戸市出身)、諏訪龍樹副主将。25日のインカレ初戦では優勝候補の一角・早大と対戦する。大坊主将は「これまで支えてくれた人のために東北代表に恥じない試合をしたい」と意気込みを語った。熊谷市長は「思い切り戦ってきてほしい」とエールを送った。

(林泰輔)



全日本学生氷上選手権出場を熊谷雄一市長(中央)に報告した、八工大アイスホッケー部の(左から)本間貴士監督、大坊和希主将、本堂将汰副主将、諏訪龍樹副主将。17日、八戸市庁

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。